

調査対象500社超！

# 『よこすかHOT景気』！

2023年  
10～12月期

地域内で調査対象企業500社超の景気動向調査を実施しています。業種別の動向を集計してお知らせしています。地域内企業の生の声を反映した、実感に基づく「景況感」を、会員企業の経営判断の参考としてお役立ていただければ幸いです。

## 景況感、横這いの状況が続く 先行き不透明感のため経営計画を立てにくい状況

調査概要

- 【対象期間】 2023年10月～12月期
  - 【調査時期】 2024年1月9日(火)～1月19日(金)
  - 【調査方法】 窓口対面調査・巡回調査・FAX調査・メールによる調査
  - 【調査協力】 久里浜商店会(協)、衣笠商店街(振)、衣笠仲通り商店街(協)、ヨコスカダウンタウンクラブ、(一社)横須賀建設業協会、横須賀工業振興(協)
  - 【回答企業】 530社
  - 【内 訳】 建設業104件(19.6%)、製造業48件(9.1%)、卸売業19件(3.5%)、小売業101件(19.1%)、飲食業73件(13.8%)、サービス業128件(24.1%)、不動産業57件(10.8%) 合計530件(100%)
- ※当調査は、当所管内の中小企業の景気動向を把握するため四半期毎に実施いたします。

### 2023年(10～12月期)【業況感】

#### 今期(10月～12月)の業況感

今期の全業種の業況感は、前期(7月～9月)と比較して、「悪い」(10.8%)「やや悪い」(23.6%)との合算回答は34.4%(前期40.5%)と6.1ポイント減少、「良い」(2.8%)「やや良い」(17.7%)との合算回答は20.5%(前期20.9%)と0.4ポイントの減少となり、「不変」との回答は45.1%(前期38.6%)と最も多く、前期と比較して6.5ポイント増加となっており、業況感は横這いで推移しているものと見られる。

横這いの要因として、事業所によって収益のバラつきが考えられる。コロナ後に業績が回復した事業所と業績が戻らない、または悪化した事業所がある。想定外の物価高騰や人件費上昇による収益圧迫、人手不足に適切に対応できたかどうかの明暗を分けた一因と考えられる。

業種別に見ると、卸、小売、飲食の業況感の「悪い」「やや悪い」との合算回答は引き続き40%を超え、サービスでは「良い」「やや良い」との回答が増加となっている。

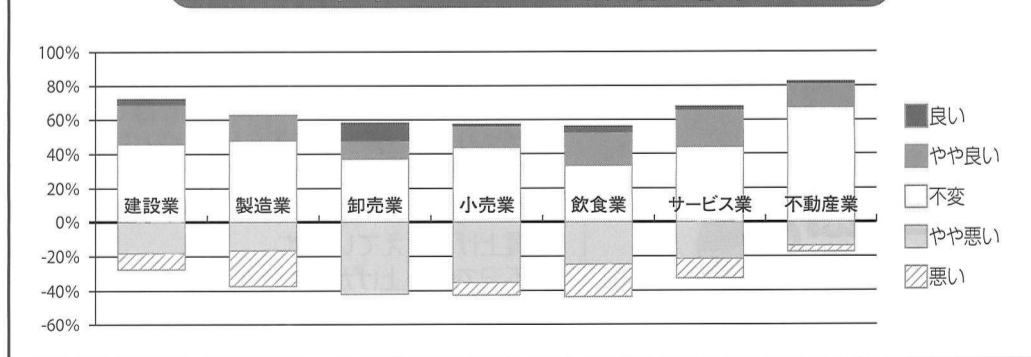
直面している経営課題としては、前期に引き続き「仕入単価上昇」「人件費以外の経費増加」が上位を占めている。また、令和5年10月の最低賃金引き上げの影響もあり、「人件費増加」が小売、飲食で引き続き上位となっている。

(業況感全体概況)

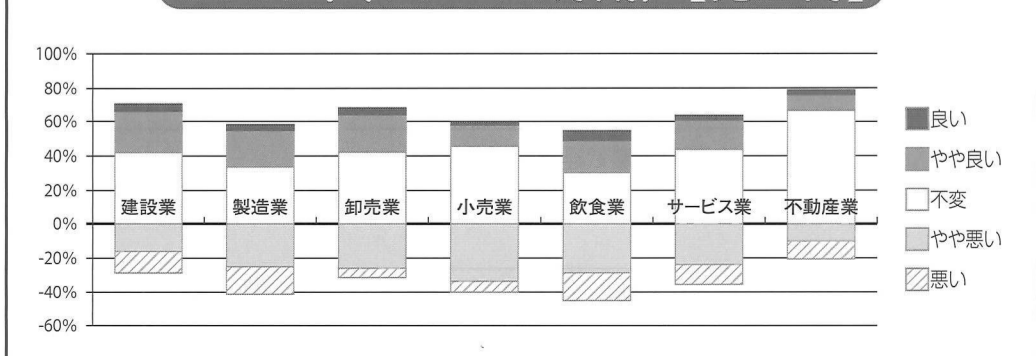
いずれも回答割合(%)

直近4期との比較	良い	やや良い	不変	やや悪い	悪い
2022 10～12月期	2.6	15.4	38.0	26.6	17.4
2023 1～3月期	0.8	25.8	41.0	22.9	9.5
2023 4～6月期	2.4	26.5	42.0	21.8	7.3
2023 7～9月期	2.2	18.7	38.6	30.4	10.1
2023 10～12月期	2.8	17.7	45.1	23.6	10.8

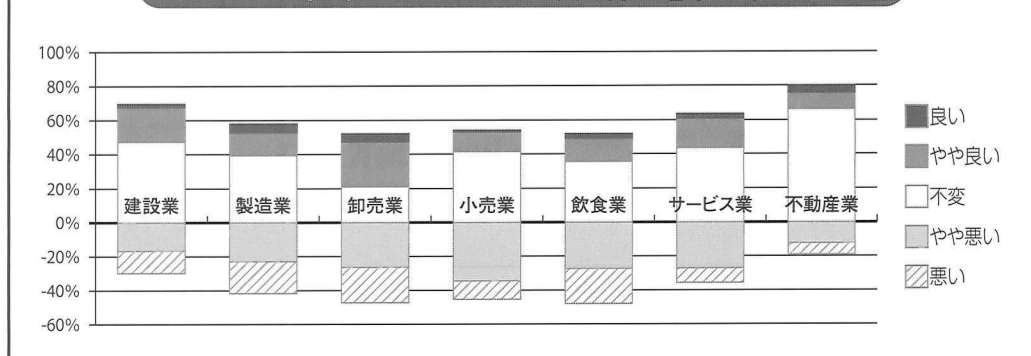
#### 2023年(10～12月期)【業況感】



#### 2023年(10～12月期)【売上高】



#### 2023年(10～12月期)【営業利益】

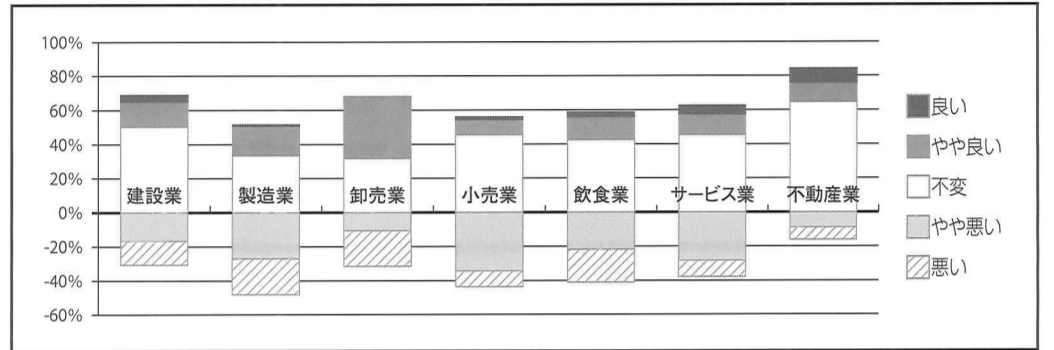


(直面している経営課題) 経営上の問題点TOP3

業種	1位		2位		3位	
建設業	仕入単価上昇	25.6%	人件費以外の経費増加	17.2%	人出不足	16.7%
製造業	仕入単価上昇	17.6%	人件費以外の経費増加	16.8%	需要の停滞	15.1%
卸売業	仕入単価上昇	23.9%	人件費以外の経費増加	17.4%	競合他社の増加	13.9%
小売業	仕入単価上昇	30.2%	人件費以外の経費増加	14.3%	人件費増加	12.4%
飲食業	仕入単価上昇	39.5%	人件費以外の経費増加	19.7%	人件費増加	12.9%
サービス業	人件費以外の経費増加	22.2%	需要の停滞	17.7%	仕入単価上昇	15.6%
不動産業	設備老朽化	28.9%	人件費以外の経費増加	10.1%	IT化の遅れ	8.7%

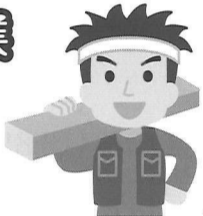
次期(2024年1~3月期)見通し

今期の業況感の「良い」(2.8%)「やや良い」(17.7%)の合算回答20.5%と比較すると次期は、17.3%と3.2ポイントと減少した。日本全体の課題として人口減少による需要減少と市場縮小が将来への不安となり、事業への投資や消費者の買い控えとなっている。また、暖冬による季節商品の不振が、小売が40%を超える「悪い」「やや悪い」の要因と考えられる。



調査に協力していただいた事業者の皆さまからの声 正社員及びパート・アルバイトの賃上げ状況と今期の経営状況についてのコメントです。

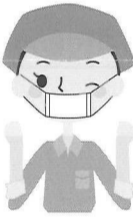
建設業



- 4月が昇給となりますが、今のところ未定です。
- パート、アルバイトは10月に賃上げ済。社員の一部賃上げ。
- 正社員給与は令和4年4月より5~15%賃上げ済です。
- 賃上げを実施したいができない状況です。

- 部門にもよりますが、少しずつ状況は好転してきています。採算のとれていない部門の売上を適宜チェックしていくようにしています。
- 物件数がやや増加していますが、材料の納期が遅れているので微妙です。

製造業



- 業績の改善が見られるため賃上げ実施。
- 正社員の賃上げあり。
- 賃上げを検討中です。
- パートについては賃上げを実施したが、正社員はなし。

- 売上が伸びていないため賃上げできない。
- 今期の売上が減少。人材強化が最大の経営課題。
- お客様の仕事量はある程度あり、受注も多く忙しい状況が続いているが、材料値上げ、消耗品の価格が上がっており収益は厳しい。

卸売業



- 昨年は賃上げをしたが、今年は厳しい状況です。
- 最低賃金の改定に連動して2~5%程度引き上げた。
- 特需的な販売があり、今期中は売上好調。

- 繁忙期の時期ですが、仕入単価上昇に価格転嫁できず在庫をかかえないように買い控えの傾向がみられる。
- 需要はあるが、景気悪化で仕入量が減少している。

小売業



- 正社員については毎年定期昇給を行ってきた。パート、アルバイトについては、県の最低賃金上昇額に応じて、時給を引き上げている。
- 正社員に2023年10月支給分から一律5000円の賃上げ。
- 賃上げを積極的に実施にもかかわらず人材不足。
- 正社員：業績回復を受け、毎年のベースアップを実施
- パート：ベースアップは最低賃金の対応に留まるが、時間手当などは維持している。
- アルバイト：ベースアップは最低賃金の対応に留まる。
- 売上が上がらない中、賃上げが続くので大変厳しい状況です。人件費にお金がかけれないのでスタッフ負担が大きくなっています。
- 売上については、昨年同月対比上昇しているが、要因として、仕入値上昇に伴う値上げ要因が大きいと考えます。人件費・経費は抑えてきましたが、人件費、光熱費等、物価上昇の影響が徐々に出てきています。

- 繁忙期の時期ですが、仕入単価上昇に価格転嫁できず在庫をかかえないように買い控えの傾向がみられる。
- 需要はあるが、景気悪化で仕入量が減少している。
- また、昨年、大型設備投資を実施したので、今後は減価償却費等設備関連支出が増えます。物価上昇、人件費増、設備投資に対応した、適切な中小企業支援策等を実施していただければと思います。
- プレミアム商品券の売上効果があったので来年も継続してほしい。
- 機器入替 電帳法対応ソフト導入により経費増加したが、他の経費削減効果あり最終利益は確保できている。計画通り推移。
- 衣料品業界は天候、特に気温に大きな影響を受ける。暖冬がもろに売り上げに影響した。
- 気温が高い日が続く、冬物がなかなか動かず厳しい状況だった。
- 見通し悪い 新商品も出ず商品の中止も多い。
- 10月「よこすか産業フェス」でのお買い上げもあり、最悪の状況ではありませんが販路開拓、販売商品を替えることで収益が増えることを希望しているところです。

飲食業



- 世の中の動きに合わせた賃料に設定しています。社員給料を一般企業と同じ金額設定にする努力をしていて、社員がやりがいを感じる職場にしていきたいです。給料が良い理由で入社する方も多いですが、決して楽な仕事で手に入ると感じてほしくないです。個人個人がやりがい、小さな責任から「社会とは」を学べる職場にしたいです。一昔前の考えばかりに縛られる環境でなく、「今」の時代にあった環境を取り入れ且つ、昔ながらの緊張感ある職場づくりのための賃上げと考えています。
- 不況で売り上げが下がっている中、最低賃金の上昇により時給を上げざるを得ない状況でバイトの人員を3人から2人に減らしました。
- パート、アルバイトのみ20%ほど賃上げしています。

- 横須賀から人が減っていて、今までに無く景気が悪い。仕入れ値が上がる中、価格転換が難しく、売上も下がっている。そんな中、物価上昇で全ての経費が上がり、インボイス制度で消費税も上がり、この先、横須賀で経営を続けていけるのか難しい状況です。
- 11月の後半から落ち込んでいます。コロナ時期より酷いです。観光客も少ないです。
- コロナによりお客様が減少、なかなか戻ってこない。
- 売上が伸びないにもかかわらず諸々の値上げで経費が増加。給料賃金も増え、インボイス制度によって税負担も増えたため利益が減ってしまった。横須賀の過疎化により今後の売り上げ増加が見込めない為、事業規模を縮小して経費・給料・税負担を減らしたいところです。

不動産業



- 今まで通りの賃上げで1年に3%上昇です。
- 2023年は月1万ずつ賃上げ。賞与はなし。
- 昨年より5%日給アップ。
- 正社員は賃上げ無し。パート、アルバイトは10月に時給を賃上げ。

- 神奈川県最低賃金改定に伴い賃金の見直しをしている。
- コロナが落ち着いた活況のようだが、収支面では良くなっていない。
- ほとんどすべての仕入単価上昇により、経営状況は良いとは言えない。
- 材料の値上がりも顕著。

- 4月以降10%賃上げ予定。

- 物件上昇の影響で経費が増えて厳しい。

横須賀商工会議所は、地域の会員企業の経営を多面的にバックアップします。ご利用になりたい制度がありましたら、下記担当までご連絡ください。